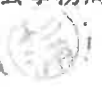


市長訪問団によるモンゴル国ウランバートル市チンゲルテイ区訪問 日程 (案)

2022年8月16日(火)～19日(金)

年月日	時間	日程			服装	対応者	打ち合わせ場所
		スポーツ課	市議会	友好協会			
8月16日 (火)	午前	5:45	焼津市役所前の駐車場集合				
		6:00～10:30	焼津市 → 成田第1ターミナル4階ロケータ		カジュアル		移動
	午後	14:30～18:20	成田国際空港 → 新ウランバートル国際空港 (M0902)			チンゲルテイ区職員出迎え	
		19:30～20:30	新ウランバートル国際空港～ウランバートル市			チンゲルテイ区職員同行	
	夕方	21:00～22:00	夕食				
8月17日 (水) ※PCR検査		8:50～	集合				ホテル1階
	午前	9:30～10:30	チンゲルテイ区長表敬訪問 10:30～調印			バトスンベレル区长ほか	区役所
		10:50～11:40	チンゲルテイ区議会議長表敬訪問	子ども図書館		ムンフバト議長ほか	
		12:30～14:00	昼食		フォーマル	チンゲルテイ区職員同行	アルタンガダスレストラン
		14:30～15:30	体育・スポーツ国家委員会	スポーツ施設		チンゲルテイ区職員同行	
	午後	16:00～17:30	PCR (出前) (時間によってスフバートル広場見学)				
		18:00～20:30	区役所主催歓迎夕食			チンゲルテイ区職員対応	ホリディイン
8月18日 (木)	午前	8:30～	集合				ホテル1階
		10:00～13:30	遊牧モンゴル体験キャンプ		カジュアル		ノマディック
	午後	15:00～18:00	帰国準備 (買い物など)				
		18:00～19:00	区議会主催夕食			区議会職員ほか	
8月19日 (金)	午前	4:00～4:10	ホテルチェックアウト				ホテルレセプション
		4:20～5:30	ホテル → 新ウランバートル国際空港			チンゲルテイ区職員	
		8:00～13:30	新ウランバートル国際空港 → 成田 (M0901)		カジュアル		移動
	午後	14:40～18:00	成田国際空港 → 焼津市				

ファイル名	第1がけ	第2がけ	個別フォルダー
決裁 市長 副市長 部長 課長 参事 係長       合議 議会事務局長 議会事務局庶務課長 秘書課長 シティーセールス課長    市民環境部長 市民協働課長 担 当    	保存期間 永・10・7・5・3 その他 () 公文書の公開 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 起 案 令和4年8月 ³ 日 所 属 スポーツ課 スポーツ振興担当 職氏名 主査 岡本 一紀 (電話) 80-6313		
意見及び指示	決裁 		
標 題 市長訪問団によるモンゴル国ウランバートル市チンゲルテイ区訪問について（伺い）			
このことについて、下記のとおり訪問してよろしいか。 記 1 経緯と目的 本市とモンゴル国ウランバートル市チンゲルテイ区は、青少年スポーツ交流事業を中心に交流を継続していくため、令和4年7月（1～6日）に下山副市長による同区との交流に係る事前協議を行い、チンゲルテイ区の意向を確認した。 ≪チンゲルテイ区の意向≫ ・青少年スポーツ交流については、継続していくことを希望するとともに他の競技も視野に入れたい。 ・スポーツ分野に限らず文化や教育、職員同士の交流も考えていきたい。 ・日本の産業を取り入れたい考えのもと経済界での交流も期待したい。 ・区議会としても協力したい。また、議員同士の交流も双方にとって良い方向に繋がると考える。 （区議会議長より） このような意向がある中で、8月8日から12日までの5日間で、同区長のほか、区議会、民間事業者が市長・議長表敬とともに本市を視察することとなった。 これらのことから、双方の交流に対する基本的な考えが一致し、事業継続が見込めるため、また、当初締結した覚書からチンゲルテイ区長が交代していること、また交流に関する費用負担等について改めて覚書等を締結し交流事業を進めていくため、市長訪問団で同区を訪問する。 なお、本市においては現在、スポーツ団体、商議所等によるモンゴル国友好団体の設立に向けた準備が進められており、正式に設立した後の事業展開を見据え、市長訪問に同行を願う。併せて本市市議会にも広く理解を深めていただくため同行を願う。			

2 訪問期間 令和4年8月16日(火)～令和4年8月19日(金) 3泊4日

3 訪問者 計17名 別紙1のとおり

4 日程 別紙2のとおり

5 予算関係 「青少年スポーツ交流推進事業費」(事業番号 05739)

款	10 教育費	予算現額	0円
項	6 保健体育費	配当現額	0円
目	1 保健体育総務費	執行額	0円
節	8 旅費	配当予算残額	0円
細節	1 費用弁償	今回支出予定額	896,400円

※不足額は、流用で対応する。

~~841,817円~~
832,200円

款	10 教育費	予算現額	1,335,000円
項	6 保健体育費	配当現額	1,335,000円
目	1 保健体育総務費	執行額	1,231,530円
節	8 旅費	配当予算残額	103,470円
細節	2 普通旅費	今回支出予定額	1,200,000円

※不足額は、流用で対応する。

~~1,169,937円~~
~~1,151,400円~~

2,771,400

款	10 教育費	予算現額	0円
項	6 保健体育費	配当現額	0円
目	1 保健体育総務費	執行額	0円
節	8 旅費	配当予算残額	0円
細節	4 実費弁償	今回支出予定額	802,500円

※不足額は、流用で対応する。

~~779,550円~~
765,000円

款	10 教育費	予算現額	319,000円
項	6 保健体育費	配当現額	38,000円
目	1 保健体育総務費	執行額	37,450円
節	10 需用費	配当予算残額	224,597円
細節	2 一般消耗品費	今回支出予定額	100,000円

市長訪問団によるモンゴル国ウランバートル市チンゲルテイ区訪問 参加者名簿

	団体名	役職	氏名
1	焼津市	市長	中野 弘道
2	焼津市議会	議長	池谷 和正
3	焼津市議会	議員	渋谷 英彦
4	焼津市議会	議員	深田 百合子
5	焼津市議会	議員	松島 和久
6	焼津市議会	議員	太田 浩三郎
7	焼津市国際友好協会	会長	鈴木 和子
8	焼津市社会福祉協議会	会長	永田 寛治
9	焼津市スポーツ協会	副会長	下村 勝彦
10	大井川商工会	会長	榊原 昇次
11	焼津市スポーツ推進委員会	委員長	小林 敏之
12	生きがい・交流部	部長	松永 年史
13	スポーツ課	課長	河守 邦人
14	市民協働課	課長	櫻井 芳之
15	シティーセールス課	主査	井鍋 惇
16	スポーツ課	主査	岡本 一紀
17	スポーツ課	主査	ヤンジカ・ソラ

モンゴル訪問日程(案)

2023年7月1日(土)～5日(水)

年 月 日	時間	焼津市・焼津市議会	焼津モンゴル友好協会	服装	備考	
7月1日 (土)	7:00 ～	-	焼津市役所発(専用バス)	カジュアル	移動	
	9:00 ～ 9:45	本庁舎グランドオープン 記念式典	成田空港着			
	10:08 ～	焼津駅発(新幹線)				
	～ 11:30					
	～ 12:54	成田空港着 合流				
	14:40 ～ 19:15	成田国際空港 → チングスハーン空港(OM502)				
	20:00 ～ 20:30	チングスハーン空港 → ゲルキャンプ				官房長官、議会議務局長ほか出迎え
	20:30 ～ 22:00	夕食・キャンプファイヤー(ゲルキャンプ宿泊)				担当職員が対応
7月2日 (日)	8:30 ～ 9:00	朝食(ゲルキャンプ)		カジュアル	区長、区議会議長以下が参加	
	9:30 ～ 15:00	チンゲルテイ区主催ミニナーダム (文化体験、乗馬、昼食)			担当職員が対応	
	15:00 ～ 16:00	ゲルキャンプ → ウランバートル市ホテルチェックイン			-	
	16:30 ～ 18:00	ホテルで休憩			-	
	18:30 ～ 19:00	在モンゴル日本国大使館 表敬・夕食会 (正装)	夕食 (Verandaイタリアンレストラ ン、正副会長以外9名)		日本大使館小林大使が対応	
	19:00 ～ 20:30				-	
7月3日 (月)	9:00 ～ 9:40	チンゲルテイ区表敬訪問		フォーマル	区長、議長以下幹部	
	9:50 ～ 10:30	チンゲルテイ区防災部	・子ども図書館(視察・交流) ・11:00～エトウゲン大学看護学部長と の会談(正副会長対応:同会場)		子図書館(区議会議員兼館長が対応)	
	11:00 ～ 12:00	・ハイルハン総合センター記念植 樹	昼食 (シャングリラホテルビュッフェ12名)		区長、議長以下出席	
	12:30 ～ 13:30	・ハイルハン総合センター昼食				
	14:00 ～ 14:30	区体育スポーツ委員会相撲土俵の贈呈(スポーツセンター)			中小企業会談(区長、議長が出席) エネレル学校ウヤンガ氏99230748	
	15:00 ～ 16:00	区中小企業センター (正副会長・関係者 計13名)	エネレル障害者職業訓練学校 (鈴木和、紺野、課長、望月)		自然環境・観光省 ムンフオド大臣顧問	
	16:30 ～ 17:00	自然環境・観光省 (市長・部長・増田理事) ※市議会はホテルで休憩	ホテルで休憩		区議会がメインで約20人が対応	
	18:00 ～ 20:00	チンゲルテイ区主催歓迎夕食会(アルタンガダス・レストラン)				
7月4日 (火)	10:00 ～ 10:40	スフバートル広場見学 (市議会、部長)	モンゴル日本友好協会 (市長、ヤンジカ)	フォーマル	モ・日友好協会 サンドイ会長	
	11:00 ～ 12:00	体育スポーツ国家委員会 (市長、市議会が広場で合流後)	ガンダン寺院・ チングスハーン博物館		スポーツ国家委員長以下5名	
	12:00 ～ 13:00	体育スポーツ国家委員会 昼食	昼食 (The bull Blue sky 12名)		ノミンデパート・ゴビカシミアなど	
	13:30 ～ 16:30	帰国準備/買物			区長、区議会議長以下幹部	
	18:00 ～ 19:00	チンゲルテイ区主催送別会				
7月5日 (水)	5:00 ～	ホテルチェックアウト		カジュアル	移動	
	7:45 ～ 13:40	チングスハーン空港 → 成田空港(OM501)				
	14:30 ～ 19:30	成田国際空港 → 焼津市(専用バス)				

宿泊先

シティタワーホテル(14200、ウランバートル市、話: +976 99529222)

令和5年度焼津市モンゴル国訪問団名簿

焼津市スポーツ課

No.		役職	氏名	ふりがな	氏名
1	焼津市	焼津市長	中野 弘道	なかの ひろみち	Nakano Hiromichi
2		焼津市生きがい・交流部長	松永 年史	なつなが としふみ	Matsunaga Toshifumi
3		焼津市生きがい・交流部スポーツ課長	河守 邦人	かわもり くにと	Kawamori Kunito
4		焼津市スポーツ課外交専門官	バーサンスレン ヤンジルハム		Baasansuren Yanjinkham
5		焼津市スポーツ課主査	望月 杏実	もちづき あずみ	Mochizuki Azumi
1	焼津市議会	焼津市議会議長	石田 江利子	いしだ えりこ	Ishida Eriko
2		焼津市議会議員	河合 一也	かわい かずや	Kawai Kazuya
3		焼津市議会議員	川島 要	かわしま かなめ	Kawashima Kaname
4		焼津市議会議員	杉田 源太郎	すぎた げんたろう	Sugita Gentaro

		役職	氏名	ふりがな	氏名
1	焼津モンゴル友好協会	焼津モンゴル友好協会会長	下村 勝彦	しもむら かつひこ	Shimomura Katsuhiko
2		焼津モンゴル友好協会副会長			
3		焼津モンゴル友好協会理事			
4		焼津モンゴル友好協会理事			
5		焼津モンゴル友好協会 会員			
6		焼津モンゴル友好協会 会員			
7		焼津モンゴル友好協会 会員			
8		焼津モンゴル友好協会 会員			

○【7月2日 9:30～ ミニナーダム視察、体験】(全員)

- ・チンゲルティ区主催ミニナーダムにて、伝統文化の鑑賞(モンゴル相撲、長唄、伝統舞踊等)や乗馬・弓矢を体験。
- ・交流訪問を記念したモンゴル相撲大会が開催され、入賞者等に焼津市より表彰を行った。



○【7月2日 18:30～ 在モンゴル日本大使館】(市長・議長団)

<対応者>小林弘之 特命全権大使、菊間 茂 次席

- ・大使館としての役割は限定的であることから、両国自治体間で実施される交流事業は非常にありがたく感じており、少しでもそのお手伝いができれば幸いと感じている。
- ・ウランバートルでは都市化の進展が著しく、デジタルの活用が日本より早く、進み方も早いと感じており、焼津市としても参考になるのでは。
- ・また、都市化の進展にともなって学校施設が追いついておらず、2交代制、或いは3交代制で授業を組んでいる学校もある。
- ・高校卒業とともに他国の大学への進学や、技能実習生として海外で働きながら、その技術や、その国の文化などを習得し、帰国後、その実績を活かした仕事につく、或いは起業している人が多い。



○【7月3日 9:00～チンゲルテイ区表敬訪問】(全員)

＜対応者＞バトスンベレル区長、ムンフバト区議会議員

- ・市長、市議会、焼津モンゴル友好協会による、チンゲルテイ区長、区議会議員の表敬訪問を行った。
- ・昨年度からこれまで実施した相互の交流訪問事業等についてお互いに感謝を示し、今後の交流拡大について意見交換を行った。
- ・また、新たな体制となった焼津市議会について改めて市議会議員より挨拶、及び昨年度設立した焼津モンゴル友好協会についても改めて会長より挨拶を行った。



○【7月3日 9:50～チンゲルテイ区防災部視察】(全員)

- ・ウランバートル市のチンゲルテイ区内消防署を視察し、消防設備を見学した。
- ・各国から、消防車等の寄贈を受け感謝しているが、日本から送られた消防車や消防機材等はモンゴル国の事業に合わせた仕様となっており大変使いやすい。
- ・チンゲルテイ区消防署の火災等の消防事情についての説明を受けた。



○【7月3日 11:00～チンゲルテイ区子ども図書館】(友好協会)

＜対応者＞ボロルトンガラグ議員(子ども図書館長)

- ・焼津モンゴル友好協会が訪問し、こども図書館職員や、チンゲルテイ区の子供たちと交流活動を行った。
- ・焼津市で絵本の古本を収集し、今回の訪問で持参し贈呈した。
- ・友好協会会員の自作紙芝居などの紹介、交流事業として実施した「スーホの白い馬」絵画コンクールの表彰を行った。



○【7月3日 11:00～エトゥゲン大学との会談】(友好協会正副会長)

＜対応者＞オエンツェツェグ看護学部長

- ・エトゥゲン大学の看護学部長との会談を行い、当大学の日本との交流状況について説明を受けた。
- ・現在、富山県の協力により日本への留学などを行っており、焼津市の静岡福祉大学との交流なども期待している。
- ・日本は特に介護分野で幅広い対応がされており、今後、介護について研修や留学などの協力をお願いしたい。



○【7月3日 11:00～ハイルハン総合センター友好記念植樹】(市長・議長団)

- ・友好交流の証として、チンゲルテイ山にメイプルを植樹した



○【7月3日 14:00～区体育スポーツ委員会相撲土俵の贈呈】(全員)

- ・以前の会談のなかで、焼津市との交流を契機にチンゲルテイ区での相撲文化の普及振興を行いたいと話を頂き、今回、焼津市から協力として土俵マットの贈呈を行った。
- ・会場には相撲のスポーツセンター職員の指導者(東京農業大学大学相撲在籍)と少年力士4名が参加し、土俵マットを広げ披露を行った。
- ・下村会長(静岡県相撲連盟会長)より贈呈した土俵についての説明や、土俵上での形の指導があった。
- ・現在、チンゲルテイ区には相撲を練習している子供たちが十数名おり、一生懸命練習し活躍したいなどの話があった。
- ・寄贈して頂いた土俵を利用した大会なども開催したいとの話があった。



○【7月3日 15:00～ チンゲルテイ区中小企業センター】(市長・議長団、友好協会一部)

＜対応者＞バトスンベレル区長、ウランバヤル所長(議員)ほか

- ・企業同士の交流ができればいいと考えているが、差し当たり双方の販売代理店があれば効果的ではないかと考えている。
- ・販売代理店の従事者については、同センターでコンサルタントできる。
- ・本日は、木工製品、革製品、フェルト、カシミヤの各加工業等の企業代表者が出席しており、実物(製品)を陳列している。この場で購入も可能であるため会談後、是非手に取ってみたい。
- ・モンゴル(チンゲルテイ区)と焼津市とは、それぞれ特色のある産業があり、どのような企業間での交流、販売など様々な方法を研究、試していけたらいいと考える。



○【7月3日 15:00～エネレル障害者訓練学校】(友好協会一部)

＜対応者＞ウヤンガ先生

- ・私立の障害者の訓練学校で、ダウン症など障害者の中でも重度の方が通っているとの説明を受けた。
- ・公設による障害者の学校もあるが、そこでは受け入れられなかった子供たちを受け入れている。
- ・訓練により喋れたり、意思疎通ができるようになったりするなど、訓練により成長しており、生徒の卒業記念作品などを見せていただいた。
- ・学校としては重度の知的障害者への技術的(大工、裁縫、芸術、料理)な指導が課題であり、日本で指導方法を教えてくれるところがあれば自費で研修に行きたいので紹介頂きたいとの話があった。
- ・以前、焼津市で訪問したこともあり、今後も交流を行いたいとの話があった。



○【7月3日 16:30～ 自然環境・観光省】(市長、友好協会一部)

<対応者>ムンフオド大臣顧問

- ・日本とは距離も近く、1990年の民主化の際に手を差し伸べてくれ、モンゴル人としては第三の隣国として非常に親しみを持っている。
- ・焼津市がチンゲルテイ区と交流を深めていることは大変素晴らしい。自治体間での交流は双方にとって効果的であると考える。
- ・そうした中で、観光分野においては企業どうし、或いは観光協会どうしが、上手くマッチングできれば双方を行き来する人が増加していく。
- ・現在モンゴル人(特に若者)は、デジタル化の進展により、人と人との間が希薄化する傾向にあるためか、日本の訪問先も一時期すべて都会(東京都内など)を好んでいたのが地方への訪問を希望する傾向にある。
- ・日本人にも是非モンゴルの自然を味わっていただきたいと思っており、ゴビ砂漠やゲルキャンプ施設の利用をお勧めしたい。
- ・双方の旅行業者が、お互い相手方を訪問して、どんなルートが組めるのかなどを探りながら、ツアーが完成すれば最良である。
- ・参考までに、昨年日本を訪問したモンゴル人は150万人、モンゴルを訪問した日本人は11.5万人である。日本への関心の高さがわかっていただけるかと思う。

○【7月4日 10:00～モンゴル日本親善協会訪問】(市長、友好協会)

<対応者>サンドイ会長

- ・協会会長と市長、及び焼津モンゴル友好協会訪問団と会談を行った。
- ・同協会はモンゴル国と日本との正式な交流開始以前から活動を行っており、60周年を迎えたこれまでの交流実績などの説明を頂いた。
- ・在モンゴル日本大使館とも協力し、モンゴルの発展やお互いの友好発展に努めている。
- ・焼津市とモンゴル国との交流活動も承知している。今後、焼津市がモンゴル国と交流の拡大を行うことについて、協力していきたいなどの意見を頂いた。



○【7月4日 11:00～ 体育スポーツ国家委員会(旧体育スポーツ庁)】(市長、議長団)

<対応者>バートルガ委員長、ゲレル総務部長、オユンバトIT部長ほか

- ・東京2020大会の際は、事前キャンプなど全てのモンゴル選手・監督等スタッフを受け入れていただき感謝申し上げます。
- ・東京2020大会以降、当委員会では「スポーツを通して健康な国民を作っていく」というビジョン(政策)を掲げ、健康教育、環境整備を模索している。

- ・事前キャンプを通して焼津市からいろいろ勉強させていただいた。
- ・現在も健康教育をどのように国民に広めていくかが課題であり、その課題解決に向けて、各種取組みを進めていく中で、改めて焼津市との覚書（協定）を締結し、情報共有のうえ勉強していきたいと考えている。
- ・ぜひ協力をお願いしたい。

＜市長の対応＞

- ・8月にスポーツ推進委員を派遣することを伝えた。
- ・オリパラ・パリ大会に向けて、大会前の世界選手権等を含めて事前キャンプ地として焼津市を活用してほしい。また、是非来てほしい旨を伝えた。
- ・覚書（協定）については、体育スポーツ国家委員会の考え方に賛同したため、締結に向けて相手方との調整を図るようよう部長及びヤンジカ主査に指示。

